

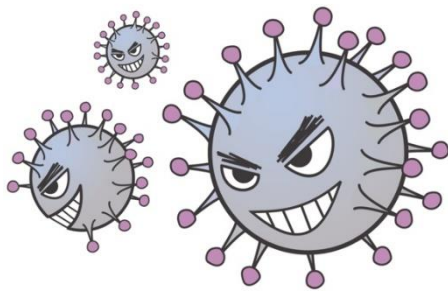


直ちに新型コロナ検査キット費用を 社員に支払え！ 全ての職場に新型コロナ検査キットを 常備せよ！

12月10日、新横浜駅の社員は日勤で帰宅後、新型コロナウイルスに感染している事が分かったため、直ちに管理者に連絡しました。幸い症状は軽症でした。

同日、感染していた社員と業務を共にした社員は、約8時間に渡り狭く換気も悪い詰所で一緒に業務を行っているため、感染している可能性は高いこ

とから管理者にコロナの検査を要請しました。しかし、新型コロナの検査キットは「常備はしていない」、さらに「会社としては用意しない」との返答でした。そのため、検査キットを自費で購入し、購入費を会社に請求する事を話してから、検査キットを購入して検査を行いました。検査結果は幸い陰性でした。しかし、その後になって「濃厚接触者ではない」との理由



で購入費を支払わないと言ってきたのです。

本来、駅など多くのお客様と接する業務を行っている社員に対して、業務上感染した可能性がある場合は、会社が率先して検査を行うべきです。もし、業務を共にした社員が感染していたら、まさに社員間に止まらず、お客様にも感染を広げていた可能性があります。これも社員個人の責任だと言うのでしょうか。

新型コロナウイルスが蔓延して既に2年以上が経過し、感染者の拡大で多くの方がお亡くなりになっています。にもかかわらず、会社は多くのお客様と接する駅業務の職場において、未だに新型コロナウイルス検査キットすら常備せず、購入費用も自己負担とする対応をしているのです。

会社は新型コロナウイルスの感染に注意するようと言いながら、感染対策の全ての責任を社員に転嫁し、会社がやるべき事を全くやらずに逃げるのがJR東海の現実です。

会社は、お客様と社員の健康・生命を守る責務を負っています。

直ちに、購入費用を社員に支払い、全ての職場に新型コロナウイルスの検査キットを常備すべきです。